

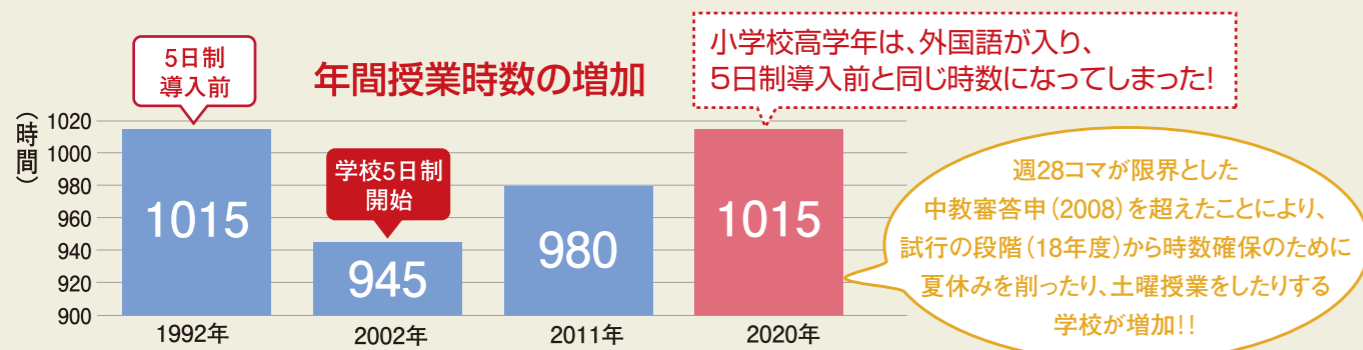
子どもを中心にすえたカリキュラム編成

- 平和・人権・環境・共生の視点をふまえたカリキュラムづくりを！
- 地域と連携し、労働教育の視点を取り入れた普通職業教育の確立を！



- 学習指導要領が大綱的基準であることをふまえ弾力化をすすめること。
- 子どものゆたかな学びを保障し、各学校のカリキュラムづくりに資する条件整備をすすめること。
- 「主権者」教育を各学校段階のカリキュラムに位置づけ、様々な活動や体験を通して学ぶ機会を保障すること。
- 労働教育の視点を各学校段階のカリキュラムに位置づけ、労働教育に関する教職員の研修の機会を保障すること。

増加する授業時数が子どもを圧迫しています！



新たに7時間目を設定したA小学校6年生の時間割

7時間用時程	月	火	水	木	金
8:10	朝の会・短時間学習				
1 8:30	国語	算数	国語	体育	算数
2 9:25	算数	書道	図工	算数	国語
3 10:30	社会	道徳	音楽	国語	家庭
4 11:25	音楽	社会	算数	理科	理科
12:10	給食				
12:50	昼休み	昼休み			昼休み
5 13:00	外国語	清掃			外国語
6 13:55	体育	体育	理科	社会	総合
	帰りの会	クラブ	帰りの会		
7 14:50	学活	★	★		総合
15:30 15:50	帰りの会		帰りの会		帰りの会

★職員研修・会議等

七休みの日を
設定する学校も!!

先生と話ができない
先生と遊ぶ時間が
ほしい!

Q. 子どもが「先生に大切にしてほしいこと」

- 1位 子どもとのコミュニケーション(休み時間の会話・遊び)
- 2位 交友関係・仲間づくり
- 3位 学級づくり(通信・教室環境・学級集団)

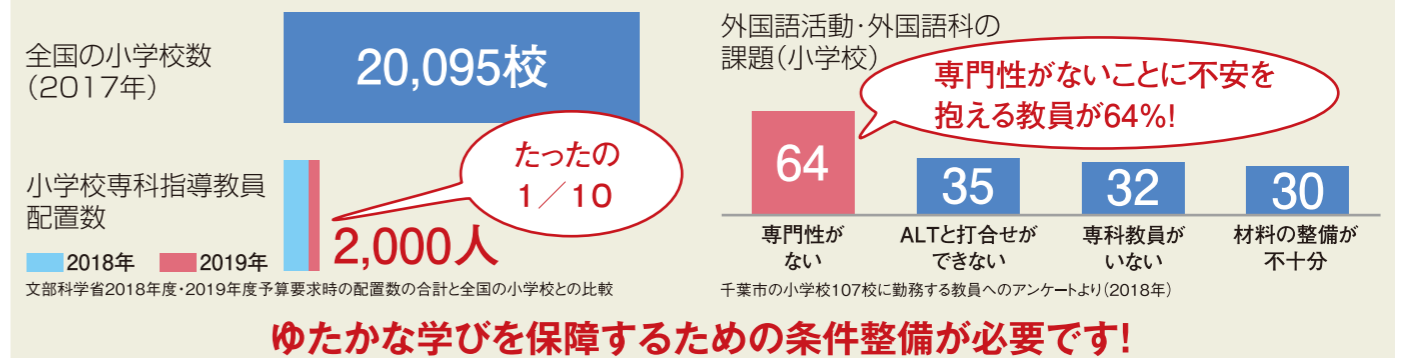
千葉県のごども1,300人の意識調査より(2017年11月)



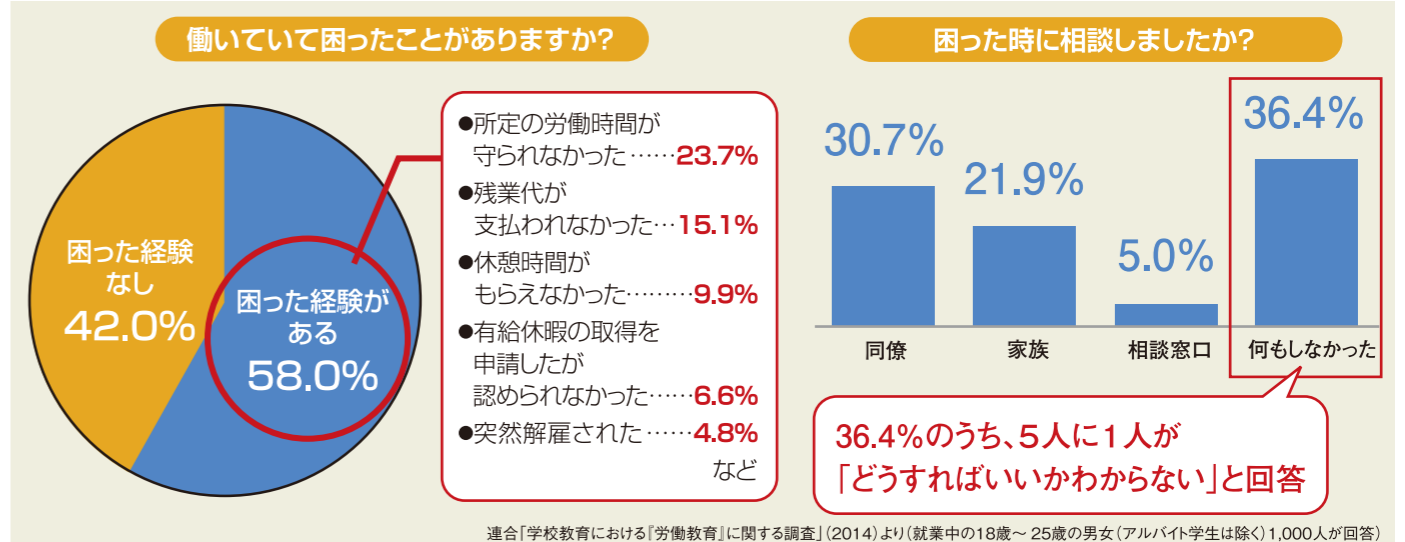
もう限界!!

持ち授業時数の削減による
ゆたかな学びを

環境が整わない中で外国語が教科として導入されています！



労働教育を各学校段階ですすすめる必要があります!



現在、学校現場で行われているキャリア教育の多くは、職場体験やインターンシップといった体験活動等を通して「働くことの意義や大切さ」(勤労観・職業観)を考えることに重点が置かれています。しかし、「ディーセントワーク」(働きがいのある人間らしい仕事)の実現には、「労働者の権利」(ワークルール等)について考えることも同じく重要です。各学校段階における労働教育のカリキュラムづくりをすすめる必要があります。